

障がいがあってもなくても

# いつからでも 学べる社会に



# みてみよう

## 保護者のみなさんへ

障害を持った我が子は、  
いったいどんな大人になるのだろう、  
どんなことができるのだろう、  
社会の中でどんな風に生きて  
いくのだろう・・・  
さまざまな不安をお持ちのこと  
と思われます。

子どもは成長していきます。  
マニュアル通りにはいかない  
けれど、  
確実に、日々、  
刺激を受けながら、  
様々なことを学んでいます。  
それはいくつになっても  
同じです。  
いろいろな体験を積んで、

好きなことを  
見つけてあげたい  
広げてあげたい ですね。

## 支えたいみなさんへ

家では家でできること、  
学校では学校でできること、  
地域では地域の様々な方からできること  
があります。

### みなさんの力を

ちょっとずつ貸してください。  
そして寄り添ってください。

この社会で共に生きている仲間として。



## つくりたいと思うみなさんへ

求めている方はたくさんいます。  
みなさんの知恵と力を出し合って、

やりたい人、支えたい人が  
集まれる環境を 探ってみてください。

## 学校を卒業してからも

障害のある人もない人も共に学び続けることができる社会を  
一緒に 築いていきましょう。

発行

2021年1月

学校卒業後の障害者の学びを支援するための地域連携コンソーシアム構築事業  
(兵庫県教育委員会・文部科学省委託)  
神戸大学大学院人間発達環境学研究科

一緒に学べる生涯学習

# いつでも だれでも



# 扉をあけて